



公 立 大 学 法 人  
埼 玉 県 立 大 学  
概 要

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 2026年度版 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

- I 法人の概要等
  - 1 法人の概要
  - 2 役員一覧
  - 3 法人の組織
  - 4 法人の予算
- II 大学の概要等
  - 1 大学の概要
  - 2 大学の組織
  - 3 学生の納付金額
  - 4 入学試験の結果
  - 5 就職の状況
  - 6 国家試験の結果
  - 7 研究の状況
  - 8 社会貢献の状況
  - 9 大学の施設等の概要

# I 法人の概要等

## 1 法人の概要

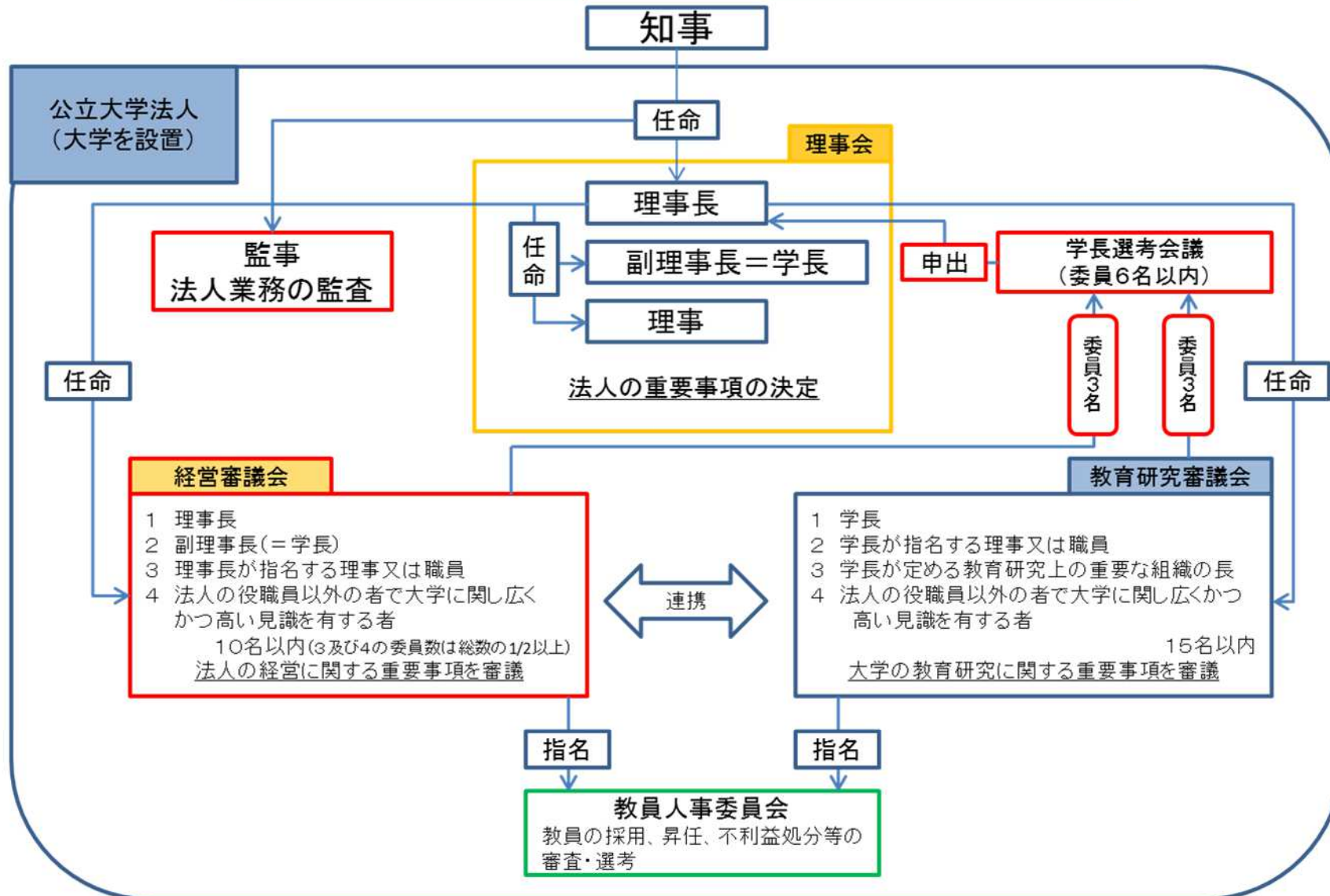
- ①名 称 公立大学法人埼玉県立大学
- ②設 立 年 月 日 2010年4月1日（1999年4月 開学、2010年4月1日 公立大学法人へ移行）
- ③設 立 根 拠 地方独立行政法人法第7条及び第80条
- ④所 在 地 埼玉県越谷市三野宮820番地
- ⑤資 本 金 の 額 245億3,429万8,800円（土地及び建物）
- ⑥資本金のうち埼玉県の出資額 245億3,429万8,800円

## 2 役員一覧（2026年4月1日現在）

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	田中 滋	
副 理 事 長	林 裕栄	学長兼務
理 事	犬飼 典久	事務局長兼務
理 事	金村 尚彦	副学長兼務
理事〔非常勤〕	岡島 敦子	元内閣府男女共同参画局長
理事〔非常勤〕	戸所 邦弘	富士倉庫運輸株式会社 取締役会長
監 事	佐野 勝正	公認会計士
監 事	中野 晃	元埼玉県公営企業管理者

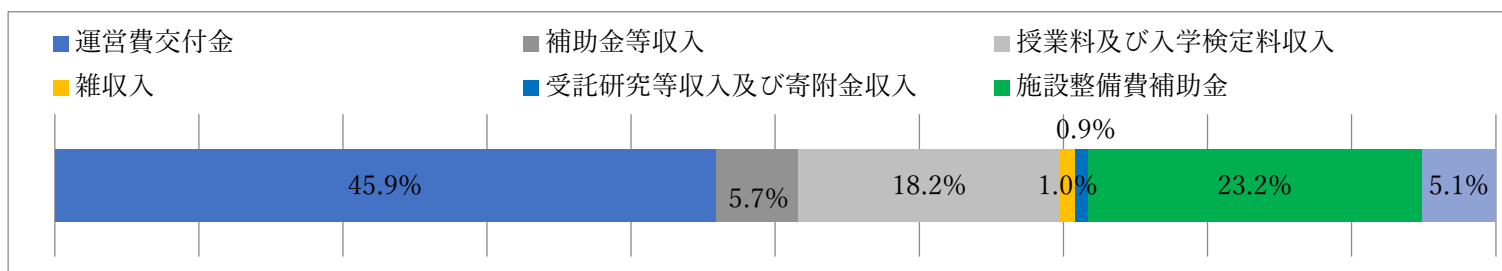
### 3 法人の組織

## 公立大学法人 埼玉県立大学 組織の概要

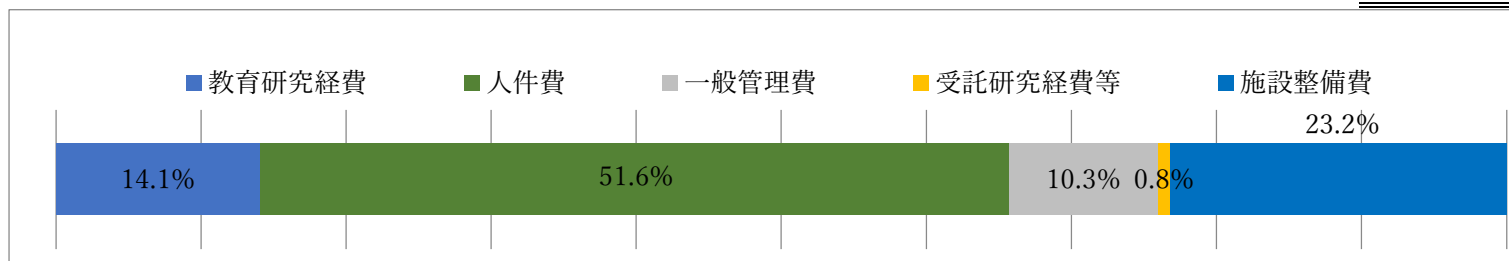


#### 4 法人の予算（2026年度）

収入予算 ① 運営費交付金（法人の業務に必要な財源として埼玉県から交付）：	2,133,717	千円
② 補助金等収入（授業料等減免負担金として埼玉県から交付など）：	235,333	千円
③ 授業料及び入学金検定料収入（学生納付金）（学生の授業料、入学金、入学検定料）：	1,002,307	千円
④ 雑収入（財産貸付収入、講習料収入、科学研究費間接経費など）：	44,352	千円
⑤ 受託研究等収入及び寄附金収入（研究受託による外部資金、寄附金など）：	32,749	千円
⑥ 施設整備費補助金（大学施設の大規模改修経費として埼玉県から交付）：	1,170,982	千円
⑦ 目的積立金取崩収入（前中期目標期間から繰り越した積立金の取崩など）：	313,920	千円
合 計：	4,933,360	千円



支出予算 ① 教育研究経費（学生に対する教育経費、教員の研究経費など）：	698,789	千円
② 人件費（役員報酬、教職員の給与・共済負担金・退職手当など）：	2,554,071	千円
③ 一般管理費（事務運営費、事務システム運営費、学生募集経費など）：	509,823	千円
④ 受託研究経費及び寄附金事業費等（受託研究に要する経費、寄附金を使用した事業費）：	39,709	千円
⑤ 施設整備費（ネットワークシステム更新工事、電灯設備更新工事など）：	1,147,573	千円
合 計：	4,949,965	千円



## Ⅱ 大学の概要等

### 1 大学の概要

#### 大 学 の 概 要

① 設置根拠  
学校教育法 第83条

② 設置趣旨  
保健、医療及び福祉の分野における幅広い高度なサービスに対応できる資質の高い人材の養成や指導的役割が果たせる人材の確保を図るとともに、保健、医療及び福祉に関する教育研究の中核となって地域社会に貢献する。

③ 開学年月  
1999年4月

④ 学科、学生数 (2026年4月1日現在)  
(保健医療福祉学部)

学 科 名	入学者	3年次 編入学者	総現員
看護学科	135	2	540 (4)
理学療法学科	42	0	162 (1)
作業療法学科	43	0	168 (2)
社会福祉子ども学科	71	0	288 (3)
健康開発学科	112	0	464 (3)
学部計	403	2	1,622 (13)

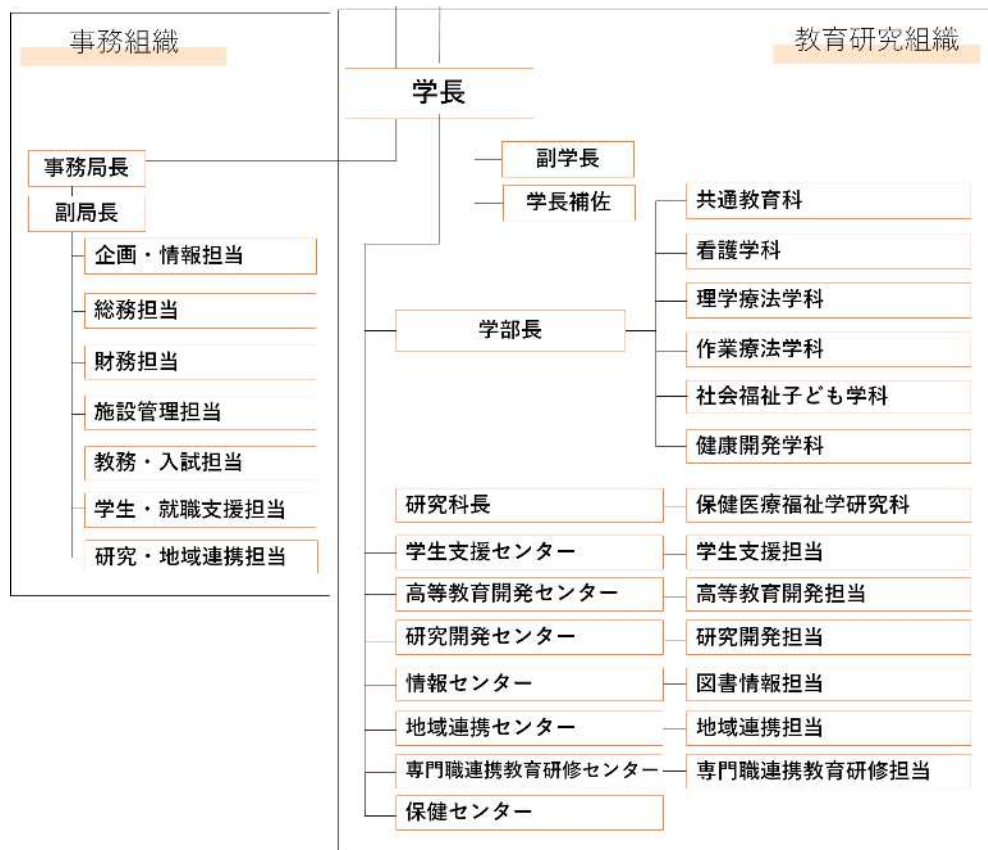
(保健医療福祉学研究科 保健医療福祉学専攻)

課程・専修名	入学者	総現員
博士前期課程	40	91 (4)
看護学	10	32 (2)
リハビリテーション学	23	37 (1)
健康福祉科学	7	22 (1)
博士後期課程	7	40 (3)
計	47	131 (7)

※ うち ( ) 内は休学者数

## 2 大学の組織（2026年4月1日現在）

大学組織図



### 大学の基本理念

本学は、陶冶、進取、創発を基本理念として、保健医療福祉に関する教育・研究の中核となって地域社会に貢献します。

#### 【陶冶】

誠実で温かい心と主体性を持ち、多様な価値観を尊重する人間性を磨き高める。

#### 【進取】

広く先達に学びつつ、未来を志向する教育・研究に取り組む。

#### 【創発】

多様な連携を通じて、予測を遥かに超える新たな価値を創造する。

< 2026年4月1日現在 >

	人 数	備 考 欄
学 長	1	
教 員	162	教授52 准教授77 助教33 ※育代、特任教員を除く
事務職員	35	
合 計	198	

### 3 学生の納付金額（2026年度）

（単位：円）

区 分		金 額	
入 学 検定料	学 部 学 生	17,000	
	大 学 院 学 生	30,000	
	科目等履修生 聴 講 生 研 究 生	9,800	
入学料	学 部 学 生 大 学 院 学 生	県内	211,500
		県外	423,000
	科目等履修生 聴講生	県内	21,100
		県外	42,300
	研 究 生	県内	63,400
		県外	126,900
授業料	学 部 学 生 大 学 院 学 生	621,000	
	科目等履修生 特別聴講学生 聴 講 生	1単位 17,300	
	研 究 生	月 額 34,500	

- 2004年度の入学生から本学独自の授業料を適用
- 大学院長期履修学生の授業料にあっては、621,000円に博士前期課程の学生は2を乗じて得た額、また博士後期課程の学生は3を乗じて得た額を当該学生の修業年限の年数で除して得た額とする。ただし、修業年限の短縮が認められた長期履修学生にあっては、621,000円に博士前期課程の学生は2を乗じて得た額、また博士後期課程の学生は3を乗じて得た額から当該学生が在学した期間に納付すべき授業料の総額を控除した額を、当該学生の修業年限の残りの年数で除して得た額とする。

#### 4 入学試験の結果（2026年度入学生）合格者、入学者、県内率（2026年4月1日現在）

##### （1）保健医療福祉学部

学科（専攻）	定員 （人）	志願者数 （人）	倍率 <sup>※1</sup> （倍）	合格者数 （人）	入学者数 （人）	県内率 <sup>※2</sup> （%）
看護学科	130	328	2.5	140	135	64.4
理学療法学科	40	111	2.8	43	42	54.8
作業療法学科	40	96	2.4	45	43	46.5
社会福祉子ども学科	70	115	1.6	75	71	49.3
(社会福祉学専攻)	50	72	1.4	55	51	47.1
(福祉子ども学専攻)	20	43	2.2	20	20	55.0
健康開発学科	115	251	2.2	124	112	41.1
(健康情報学専攻)	45	79	1.8	51	42	26.2
(検査技術科学専攻)	40	119	3.0	41	40	57.5
(口腔保健科学専攻)	30	53	1.8	32	30	40.0
合 計	395	901	2.3	427	403	52.4

##### < 3年次編入学試験 >

学科（専攻）	定員 （人）	志願者数 （人）	倍率 <sup>※1</sup> （倍）	合格者数 （人）	入学者数 （人）	県内率 <sup>※2</sup> （%）
看護学科（一般選抜 学校推薦型選抜含む）	5	5	1.0	2	2	100.0
合 計	5	5	1.0	2	2	100.0

##### （2）保健医療福祉学研究科

研究科	定員 （人）	志願者数 （人）	倍率 <sup>※1</sup> （倍）	合格者数 （人）	入学者数 （人）	県内率 <sup>※2</sup> （%）
保健医療福祉学専攻 博士前期課程	38	56	1.5	40	40	70.0
保健医療福祉学専攻 博士後期課程	8	15	1.9	9	7	100.0

※1 倍率＝志願者数／定員

※2 県内率＝県内出身者／入学者

## 5 就職の状況

### (1) 保健医療福祉学部 (2025年度卒業生)

<2026年5月1日現在>

学 科	卒業者 (人) A	就 職 者		進学者 (人) E	就職・進学を希望 しないもの F	未決定 (人) G	進路決定率 (%) (B+E) / (A-F)
		(人) B	県内(人)				
看護	144	136	92	3	5	0	100.0
理学療法	40	27	18	*15	0	0	100.0
作業療法	37	37	23	0	0	0	100.0
社会福祉子ども	71	69	35	*2	1	0	100.0
健康開発	113	104	45	5	3	1	99.1
合 計	405	373	213	25	9	1	99.7

\* 就職かつ進学する者 (理学2名、社会福祉1名、合計3名) を含む人数

### (2) 大学院保健医療福祉学研究科 (2025年度修了生)

<2026年5月1日現在>

課 程	専 修	修了者 (人)	就 職 者		進学者 (人)	就職・進学を希 望しないもの	未決定 (人)	進路決定率 (%)
			(人)	県内(人)				
修士課程 博士前期課程	看護学専修	5	5	4	0	0	0	100.0
	リハビリテーション学専修	11	10	7	*2	0	0	100.0
	健康福祉科学専修	7	7	1	*1	0	0	100.0
博士後期課程		9	9	6	0	0	0	100.0
合 計		32	31	18	*3	0	0	100.0

\* 就職かつ進学する者 (リハビリテーション学専修1名、健康福祉科学専修1名、合計2名) を含む人数

## 6 国家試験の結果 (2025年度卒業生)

職 種	学 科	受験者数 (人)	合格者数 (人)	不合格者数 (人)	本学合格率 (%)	全国合格率(新卒) (%)
看護師	看護学科	125	125	0	100.0	94.1
保健師	看護学科	38	37	1	97.4	89.9
助産師	看護学科	17	17	0	100.0	99.8
理学療法士	理学療法学科	40	39	1	97.5	94.9
作業療法士	作業療法学科	37	37	0	100.0	96.6
社会福祉士	社会福祉子ども学科	60	57	3	95.0	79.2
精神保健福祉士	社会福祉子ども学科	7	7	0	100.0	89.0
臨床検査技師	健康開発学科	41	41	0	100.0	93.3
歯科衛生士	健康開発学科	29	28	1	96.6	97.2

## 7 研究の状況

### (1) 科学研究費補助金の採択状況 (2026年4月1日現在)

- ・採択件数：76件 (うち新規採択件数 24件)
- ・交付金額：110,760千円 (1件当たり平均 約1,457千円)

### (2) 受託・共同研究、補助事業、研究助成金の状況 (2025年度実績)

#### ① 受託・共同研究 41件 23,382千円

(主な内容)

- ・医療機関における健康経営フレームワークに関する研究 1,122千円

#### ② 研究助成金 3件 6,359千円

※金額は契約額のうち、当該年度に入金があった金額を計上している。

※受託・共同研究件数は埼玉大学との共同研究3件を含む。

### (3) 埼玉大学との共同研究の状況 (2025年度実績)

- ・実施件数：3件
- ・研究課題

<共同研究1>変形性関節症の病態解明に基づく“レジリエント軟骨細胞”の創出

<共同研究2>マスクを用いた呼吸計測手法の開発とスポーツトレーニング・呼吸リハビリテーションへの応用

<共同研究3>マイオカインに着目した運動による軟骨変性抑制効果のメカニズム解明

- (4) 研究開発センターにおけるプロジェクト  
 右記の4つのプロジェクトを実施。  
 (2025年度実績)

プロジェクト	1	軽度に虚弱な高齢者に有効で普及しやすいリエイブルメント・プログラムの開発及び効果検証 研究 - 自立生活の再獲得に向けた高齢者本人の自律的な行動を支援するプログラム の効果検討-
	2	変形性膝関節症の病態予測モデルの開発と社会実装に向けた地域支援体制の確立
	3	越谷市『通いの場』の多職種間連携評価と介護予防効果の科学的検証
	4	介護者の業務上疾病予防と安全なケア提供のための機械学習応用型移乗介助技能評価システムの開発

- (5) 地域包括ケアを推進する取組 (2025年度実績)

- ①学内プロジェクト研究の発表 ⇨ 研究開発センターシンポジウム 1回

## 8 社会貢献の状況

- (1) 社会貢献事業の状況 (2025年度)

ア 一般県民向け公開講座等の状況 (対面・オンライン)

- ・みんなで学ぼう！健康のリテラシー
  - ・3Dプリンタを使ってみよう！！
  - ・市販薬と健康食品の正しい知識を学ぶ
  - ・精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク
  - ・運動機能を向上させるインソールパッドの体験
  - ・お口の健康づくり講座
  - ・子ども劇場
- ほか

イ 保健医療福祉従事者のキャリアアップのための専門職研修等の状況

- ①専門職講座 (対面・オンライン)

- ・臨床家のための看護研究セミナー
  - ・現場で使える3Dプリンタの活用法
  - ・卒業生保健師勉強会
- ほか

- ②社会福祉士実習指導者講習会 (オンライン1日、対面1日 全2日)

③専門職連携を学ぶ講座（対面・オンライン）

- ・チームビルディング研修（全1日）
- ・ファシリテータ研修（全3日）
- ・多職種チームによる実地実習（全1日）
- ・チームワーク研修（全1日）
- ・IPWを推進するF-SOAI研修（全3日）
- ・多職種チームによる事例検討（全2日）

ウ 企業・自治体と連携した地域貢献事業

- ・さいしんビジネスフェア 2025（埼玉縣信用金庫）
- ・令和7年度 彩の国ビジネスアリーナ（埼玉県他）
- ・大学見本市 2025～イノベーション・ジャパン～（国立研究開発法人科学技術振興機構他）
- ・研究シーズマッチング会（公益財団法人埼玉県産業振興公社）
- ・開放特許を活用した学生アイデア発表会 in 埼玉（公益社団法人さいしんコラボ産学官）
- ・学生政策提案フォーラム in さいたま（さいたま市他）
- ・かすかべビジネスプランコンテスト（春日部市他）
- ・リアル体験教室（埼玉県）・子ども大学こしがやまつぶし（越谷市・松伏町）・春日部市民講座（春日部市）

エ 施設開放の実績

年 度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
貸出件数	368	307	329	284	242	213	261	208	17	33	112	194	177	176
利用延べ人数	17,591	12,851	12,923	15,996	14,543	12,421	16,444	11,235	2,225	2,454	5,285	15,071	11,732	10,301

(件)  
(人)

オ 図書館の県民（県内在住・在勤・在学）の利用

年 度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
利用者数	930	877	655	769	712	708	648	15	69	75	355	357	303
貸出者数	1,913	1,911	1,858	1,804	1,417	1,256	1,215	135	288	480	704	782	791
貸出冊数	3,992	4,094	4,103	3,867	3,106	2,755	2,877	236	621	931	1,526	1,662	1,606

(人)  
(人)  
(冊)

- (2) 県内市町村・団体等の審議会委員の就任状況（2025年度） 委員就任：232件
- (3) 講演会・研修会等での講師の状況（2025年度） 講演派遣：301件

## 9 大学の施設等の概要

### (1) 施設の規模

敷地面積	:	102,260 <sup>m<sup>2</sup></sup>
建築面積	:	34,030 <sup>m<sup>2</sup></sup>
建物延床面積	:	54,000 <sup>m<sup>2</sup></sup>
構造規模	:	鉄骨鉄筋コンクリート造4階建

### (2) 施設の概要

- ① 本部棟  
事務室、防災センター、保健センター等  
客席数805席の講堂  
食堂、売店
- ② 教室棟  
北棟、南棟、共通施設棟、教育研修センター
- ③ 情報センター（図書館）
- ④ スポーツ施設  
体育館、グラウンド、テニスコート

### (3) 設備上の特色

- ① 福祉対策  
ア バリアフリーなアクセスのための段差の解消やエレベーターを設置  
イ 点字ブロック、点字案内板、音声標識ガイドなどの障害者対策を整備
- ② 防災対策  
ア 耐震設計に配慮された建物構造体  
イ 非常用発電装置（最大72時間）、防災備蓄庫  
ウ 非常用飲料水確保のための耐震性貯水槽（100<sup>m<sup>3</sup></sup>）、非常用井戸
- ③ 省エネ対策  
ア 環境調整型空調システム（パッシブソーラー）の採用  
イ 100kWの発電能力を有する太陽光発電装置  
ウ 太陽熱利用温水器の設置  
エ 雨水の再利用（トイレの洗浄水、芝の散水）